

がん治療と仕事の両立を考える

「治療保障」を訴求

アクサ生命

アクサ生命は11日、がん治療と仕事の両立を考
える「マイ・セラピー」を
都内で開いた。かつて手
術・入院が中心だったが
がん治療は個別化医療の時
代で通院治療が増えてい
る。今年4月から販売す
る治療保障の「がん保
険」を「マイ・セラピー」の広
告キャンペーンを同日か
ら開始したことに併せ
た。

同社の松田貴夫・専務
執行役員は「がんは仕
事、生活しながら治す病
気へと変化。がん経験あ
るサバイバーは職場や日
常生活復帰への手続き、
外見、リハビリなど新た
な課題や悩み直面す
る」と商品開発の背景を
説明する。マイ・セラピ
ーは治療法の進歩に応
じて最新・最速ながん治
療を受けられるよう工夫
した。



（左から）ジャーナ
リスト・いちのせかつみ
氏、アクサ生命・松田
貴夫氏、がんライフア
ドバイサー協会・川崎
由華氏

中で、今後のマネープラ
ンについて多くの相談が
寄せられる。ジャーナリ
ストのいちのせかつみ氏
は、がんサバイバーでも
あり「見えないがん差
別」を自らも感
じていることもあり、「職場
では担当者が「じぶんが
なったら」と考えること
が必要」と助言した。
松田氏は「すべての人
が一度は（がんに）かか
ると考えた支援ができれ
ば」と、日本で「番多く
のがん保険開発者の知見
を生かす」。